

# 2011 AUTOBACS SUPER GT 第2戦 FUJI GT 400km RACE

2011年4月30日(土)～5月1日(日)

## 予選 レポート



場所:富士スピードウェイ / 天候:晴れ / コース:ドライ / 気温:17°C / 観客動員数:24,000人

2011年 SUPER GT シリーズは、4月3日に岡山で開幕を迎える予定だったが、東日本大震災の影響で5月22日に持ち越しとなり、この第2戦の富士が事実上の開幕となった。

#62 R&D SPORT LEGACY B4は、昨年末から進めていた2012年を見据えた車輛の大幅改造も順調に進み、3月10日にシェイクダウンも無事終了したが、その翌日の震災の影響で、さらなるテスト走行をする事なく、富士のレースウィークに突入した。4月29日に行われた公式テストでの走行が、#62にとっての実質的な今シーズンの始まりとなった。

### 4月30日(土)

#### <公式練習>

午前9時10分、公式練習走行開始。まず佐々木孝太が車輛に乗り込み、ピットを後にする。車輛チェックをし、すぐにピットに戻る。

特に問題無しとのコメント。昨日の公式テストで5番手のタイムを出せている事もあり、チームの雰囲気も落ち着いている。メカニックによる入念な車輛チェックを済ませ再びピットアウト。本格的な走行を開始する。#62は順調にタイムを伸ばし1分44秒台に入るが、それでも前には1分43秒台が6台いる。やはり想定はしていたが FIA-GT 車輛が速い。赤旗中断後の午前9時50分、山野哲也にドライバーチェンジしセッティングを続ける。阿立エンジニアはさまざまな方向性を模索するが、やはり走行データが少ないということは、それだけでもハンデとなっていた。時間の限りセットアップを試し、午前10時55分、公式練習は終了する。



www.rdsport.net

### <予選1回目>

午後1時15分から予選がスタートした。

今回の予選方式はスーパーラップ方式である。予選1回目で10位までに入った車両がスーパーラップ(1台ずつタイムアタックし競う)に進むことができる。但し、両ドライバーが105%の基準タイムをクリアしなければならない。まずは山野が車両に乗り込みアタックに入る。3周目、1分45秒台のタイムをマークし、基準タイムをクリア、ピットに車両を戻した。さらに、佐々木にドライバーチェンジし、まずは基準タイムをクリアする。そして10分間の300クラス専有走行による予選にそなえる。



午後2時15分、佐々木が再びピットアウト。3周目、1分44秒182、順位は11位である。何とか43秒台に入りたかったが、やはりセットが決まっていなかった。残念ながらスーパーラップには進む事が出来なかった。なお、その後のスーパーラップによりポールポジションは、#33HANKOOK PORSCHE。#62は、最終的に上位に失格車両があったため、1つ繰り上がり、10番手グリッドから明日の決勝をスタートすることになった。

### ■本島監督コメント

今日の目標はスーパーラップに残る事でした。もう少しのところまでは来たのですが、FIA-GT 車両が予想以上に速かったですね。JAF-GT 車両としては2012年規則に沿った車両であるにも関わらずトップタイムですから、これは素晴らしい事だと思います。いつもの通りデータの不足している新型車両は非常に不利ですが、決勝に向けて出来る限りの対策をしたいと思います。



明日の決勝は雨予報で、悪コンディションになりレースも荒れそうですが、経験豊富な両ドライバーに託したいと思います。1台ずつ抜いて上位に食い込めるレースが出来ると思います。

みなさん応援宜しくお願い致します。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>  
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/news/> もご覧ください

2011年4月30日  
SUBARU LEGACY B4  
TEAM アールアンドデースポーツ  
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net